

# I Love Taku! のまちづくり 花と緑をまちなかに

多久駅周辺では土地区画整理事業が進み、平成22年度は駅前広場、多久駅北駐車場・駐輪場などの整備が整い、街並みづくりが広がってきています。これまでのまちづくりの事業報告と、これからの街並みづくりについてのフォーラムを7月7日、多久市商工会館で開催しました。今回は3人の女性をパネリストに迎え、女性の視点を活かしてのまちづくりをテーマに活発な意見交換が行われました。

『まちづくりフォーラム』の事業活動報告では、中心市街地の活性化のため取り組んできた多久駅周辺まちなか再生総合プロジェクトについて、渡會清治プロデューサーから『まちづくりは第2段階へ』と題して報告。ここ2～3年の課題として中核施設構想の具体化やまちづくり会社等の運営組織の構築があり、みなさんの意識を高め、議論を形にしていける段階であるとの説明がありました。

その後『まちなかを花と緑で彩る』と題し山崎誠子<sup>まきこ</sup>先生が基調講演を行い、パネルディスカッションに移りました。渡會さんをコーディネーターに、4人がパネラーとして『花と緑が賑わいを生み出す』をテーマに意見を交わしました。

会場から「自分がくつろげる場所とか、子どもと気がねなく過ごせる場所が欲しい」などの意見や要望も出され、これからのまちづくりに期待が集まりました。

## 花と緑で魅力ある多久の顔づくり!



基調講演  
「まちなかを  
花と緑で彩る」  
日本大学工学部助教  
山崎誠子先生

私たちはまちなかの緑をどうしていくかをみんなで考えていくことが大事です。駅を降りたときの魅力ある多久らしい顔づくりをどうするのが重要になります。そのとき多久の自然に合っていること、環境に合っていること、その街の文化とか歴史とかを盛り込ませることが大切で、3つの要素をうまく合わせながら、誰からも共感が得られる、多久らしい植物を選んでいくことが大切です。

花や緑をまちなかで見せることで、祭りやイベントができます。創意工夫で人を集めることができます。こういうことをやっていくのに一番大事なものは維持管理で、日々変化する植物を相手にするには、どう手入れしていくかがきれいな街を作っていくうえで大切になってきます。  
(講演の一部を抜粋)

